

令和 5 年度 工賃向上計画書（通期）

事業所（施設）名	おおぐち工房 I				事業種別	就労継続支援B型		
平均工賃の推移	前々年度（平成 3 年度）実績				前年度（令和 4 年度）実績			
	期	上半期	下半期	通期	期	上半期	下半期	通期
	月額	8,614	12,845	10,730	月額	12,295	12,236	12,265
	時間額	95	150	122	時間額	146	153	150
平均工賃の目標	今年度（令和 5 年度）目標				令和 5 年度以降の目標			
	期	上半期	下半期	通期	期	R 6 年	R 7 年	R 8 年
	月額	11,667	12,865	12,266	月額	12,347	12,428	12,509
	時間額	147	155	151	時間額	152	153	154
前々年度と比較した前年度の工賃支給状況	支払総額		（○）増加傾向		（ ）横ばい傾向		（ ）減少傾向	
	延べ工賃支払対象者数		（ ）増加傾向		（ ^{REF1} ）横ばい傾向		（ ）減少傾向	
	延べ勤務時間数		（ ）増加傾向		（ ）横ばい傾向		（ ^{REF1} ）減少傾向	
	平均工賃	月額	（○）増加傾向		（ ）横ばい傾向		（ ）減少傾向	
		時間額	（ ^{REF1} ）増加傾向		（ ）横ばい傾向		（○）減少傾向	
前年度の作業種目及び収入実績	作業種目	前年度収入額	割合	傾向				
	受託加工	1,568 千円	16 %	新型コロナにより作業減				
	自主製造・販売	8,172 千円	82 %	新型コロナにより作業減				
	仕入・販売	0 千円	0 %					
	飲食	132 千円	1 %	新型コロナにより訪客減				
	サービス	0 千円	0 %					
	役務（清掃等）	0 千円	0 %					
	他（ ）	91 千円	1 %	清掃事業により微増				
	合計	9,963 千円	100 %					
前年度に工賃向上に効果上げた具体的な事項	自主製品のマスク以外の商品も販売した。 原価率を意識し、まとめ売りの数量など把握した 横浜市からのDM作業を新規に行った。 SNSや店頭など宣伝し販売した。							
工賃向上のためにクリアしなければならない課題事項（複数回答可）	（ ） 販売品に魅力がない （○） 販売先が限られている （○） 受注単価が安い （ ） 他事業所とのネットワークがない （ ） 職員の作業負荷増大 （ ） 職員のコンセンサス （ ） その他（ ） （ ） 販売品種が少ない （ ） 立地条件が悪い （ ） 多量の注文が受けられない （ ） 利用者の作業負荷増大 （ ） 利用者特性							
工賃向上のために優先的にクリアしなければならない課題の具体的な内容と対応策	感染予防対策 ひとつひとつ丁寧に納品し食品事故をおこさないようにする。 自主製品の手作りマスクや季節の商品 割引をせずパンを販売する 新規の内職作業獲得							
今年度計画している改善策（複数回答可）	（ ） 品質の向上 （○） 販路開拓 （○） 新商品開発 （ ） 他事業所とのネットワーク化 （ ） 内部努力 （○） 作業種目の見直し （ ） 職員の意識啓発 （ ） 神奈川県工賃向上支援事業への積極的な参加 （ ） その他（ ）							
今年度計画している改善策の具体的な内容	コロナ禍の前のようなパンの納品先を増やす 自主製品の手作りマスクだけでなく季節の商品を開発する 原価率を検討し販売価格を上げる 受注センターなどで内職など作業を受注する 通常の価格で販売することを意識する							